

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	1	
事業名	交通安全対策経費		会計	款	項	目
			一般	2	1	11
施策	1	安全・安心なまち	課名	建設課		
	1-1	安全・安心のまちをつくる	係名	土木係		
	1-1-2	交通安全・防犯対策の充実				
主要施策	②安全な道路環境の整備・維持					

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民（歩行者、ドライバー）、通過・来訪者	目的（対象がどのような状態になっているか）	利用者が安全に通行が出来る道路環境の整備を行う。
事業内容	交通安全対策としてガードレール、転落防止柵、カーブミラー等の設置。また、ライン表示等により利用者の安全を確保する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
	1	町内交通事故（人身、物損）件数	694	704	593	件		
2	◆町の交通安全対策についての満足度		29.1	-	%			
3								
4								
5								
			令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				6,911	7,600	7,571		
財源内訳	直接事業費A			5,591	5,620	5,591		
	うち一般財源			3,328	3,158	3,045		
人件費（千円）B				1,320	1,980	1,980		
内訳	一般職員（人・千円）		0.2	1320	0.30	1980	0.30	1980
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	通学路安全推進会議による要望箇所の対策に費用が掛かり、本来の道路対策が進捗しない。交通安全の観点からも計画的な対策が必要。	③取組の課題	通学路安全推進会議での要望や、近年話題となる通学路等での事故防止のために、事業内容を拡充する必要がある。また、カーブミラーの老朽化が著しく、計画的な交換が必要である。
②R2年度に実施した取り組み	通学路安全推進会議にて要望のあった通学路の路面標示等の設置、補修を行いました。また、歩行者等の安全確保のためのガードパイプや車止めの設置を行いました。その他に、自治会要望によるカーブミラーの新設や、カーブミラー磨きにて報告のあった不具合のあるミラーの補修を行いました。他には、町交通安全推進協議会補助金を廃止しました。	④今後の改善計画	住民の安全確保のためにも予算の拡充を図る。